

# こんにちは 野々市市議会です

新市立図書館、新中央公民館

建設事業の契約締結を議決 … 2 P

予算決算常任委員会で議案審査 … 4 P

9月定例会一般質問 9人が登壇 … 6 P

先進地に学ぶ … 11 P

市民の声 … 12 P

議会だより

7号

2015年(平成27年)

# 新市立図書館

平成29年11月  
供用開始予定

# 新中央公民館

平成31年4月  
供用開始予定

# 建設事業

9月  
定例会

## 84億5523万円で契約締結を議決

新市立図書館ほかの文化交流拠点施設は、野々市市太平寺4丁目地内に建設します。地上二階建ての建物で、図書館のほか、建物内には市民の方々が学べる、スタジオ・工房・陶芸室のスペースを設け、またカフェや、憩いのひろばも設ける予定です。さらに、文化的な催事などが開催できる、オープンギャラリー・企画展示室も設ける予定です。敷地内駐車場にはコミュニティバスのつても乗り入れることで利便性を高めます。



新市立図書館の内観イメージ



新市立図書館ほか文化交流拠点施設の外観イメージ

### 議決結果一覧

平成27年9月定例会			○=賛成、×=反対 ※議長(早川 彰一)は採決に加わりません。															
議案名	議決日	議決結果	五十川員申	北村大助	馬場弘勝	安原透	宮前一夫	西本政之	中村義彦	杉林敏	金村哲夫	辻信行	早川彰一	尾西雅代	土田友雄	大東和美	岩見博	
議案第43号 平成27年度野々市市一般会計補正予算(第2号)について	9月30日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号 平成26年度野々市市一般会計歳入歳出決算認定について	9月30日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第45号 平成26年度野々市市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月30日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第46号 平成26年度野々市市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9月30日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第47号 平成26年度野々市市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月30日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第48号 平成26年度野々市市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月30日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第49号 平成26年度野々市市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	9月30日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第50号 平成26年度野々市市水道事業会計決算認定について	9月30日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第51号 野々市市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	9月30日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第52号 野々市市手数料条例の一部を改正する条例について	9月30日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第53号 野々市市子ども医療費給付に関する条例の一部を改正する条例について	9月30日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号 野々市市ひとり親家庭等医療費給付に関する条例の一部を改正する条例について	9月30日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号 特定事業契約の締結について	9月30日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第56号 野々市市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	9月8日	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 平成27年度補正予算及び 平成26年度各会計決算も 可決・認定

▼人事(全員賛成)  
▼教育委員会委員

松本 哲幸  
押野5丁目

平成27年9月議会を9月8日から30日までの23日間の日程で開催し、市長提出の議案13件、及び報告5件を審査し、いずれも全会一致ないし賛成多数で可決承認しました。

新市立図書館と新中央公民館の建設を核とする「野々市中央地区整備事業」については、総合評価方式による一般競争入札で野々市まちづくり株式会社と84億5523万円で契約締結することを賛成多数で議決しました。

平成27年度一般会計補正予算では、国の耐震基準の変更に伴う野々市小学校体育館の吊り天井の撤去費用などが計上され、全会一致で可決されました。

また、人事案件の野々市市教育委員会委員の任命については全会一致で同意しました。

議案を  
審査しました

9月17・18・24・29日の4日間

平成27年度一般会計補正  
予算について

Q 野々市小学校と野々市中学校の体育館施設等改修についての現状と改修内容は。

A 学校施設の体育館及び室内プレイルーム等において、建設当時では建設基準法上はクリアされていたが、その後基準が改正されたため、現在の基準では落下の恐れがある学校の体育館の天井材を撤去するなどの対策を行うもの。(事業費7575万円)



野々市小学校体育館の吊り天井

平成26年度一般会計歳入  
歳出決算認定について

Q 公債費について、利息や借入先の市の考え方は。

A 地方債の発行については原則として県との協議が必要である。市中銀行の方が政府資金や地方公共団体金融機構より現在は安く借入れできる場合があるが、借入先は国と県より指定される。一般会計の政府資金等からの借入れについては繰上償還は原則ない。市中銀行からの借入れについては繰上償還は考えていない。

Q 防犯カメラの設置申し込み状況は。

A 6カ所の申し込みがあり、効果が高い2カ所を選定した。年2カ所、効果のあるところを計画的に補助していきたい。(事業補助金59万円)



防犯カメラ

Q 平成24年度から平成26年度までの不納欠損額の増減と主な要因は。

A 平成24年度から平成25年度は3300万円の減額となっている。平成26年度は約36万円増加した。事業所の倒産などの事情によるものである。



市政バスによる施設見学

Q 里まちガイドや市政バスを活用して、市民に対しても野々市市の魅力を伝えることも大切ではないか。

A ボランティアガイドは新たな野々市市の魅力の発見につながる多彩な活動を行っており、市としても積極的に協力していきたい。より多くの方に参加いただけるよう取り組みたい。



児童クラブ指導者・保護者の方々と議員との懇談会

Q 放課後児童クラブへの年度初めの支援事業費を、もう少し早い時期に交付できないか。

A 補助額決定は実績や児童数などの確定によるため、申請書類が整うまでは払えないが、今後、概算払いなども検討していきたい。(事業補助金8177万円)

Q 病児保育の利用者数が増加しているが、民間医療機関への協力要請など、今後の対応についての考えは。

A 今後利用者が増えれば、一カ所だけでは対応は難しくなると思うので、検討していきたい。(事業市補助金660万円)



病児保育所＝横宮町地内

Q 出先窓口サービスでの証明書発行の利用状況は。

A 昨年度は、交遊舎サービスコーナーで約2300件、本町サービスコーナーで約1800件の利用があった。

Q 土木費の国庫補助金が減額補正となっているが、事業への影響はないか。

A 街路事業は土地開発公社を活用して用地を先行取得して事業の完成年度を遅らせないようにしていく方針である。公園事業は、椿サミットの開催に向けて中央公園の改修工事を行うが、減額となったため今年度と来年度にかけて整備を行う予定である。

Q 生活困窮者自立支援モデル事業の委託料の効果と利用人数は。

A 年度途中から開始した事業で、3カ月間で相談を受けたのは延べ11件、その内支援プランを作成し、就労を支援したのは2件、他に家計支援、一時的な生活資金の貸付、生活保護に移った方もいる。(事業費400万円)

※生活困窮者自立促進支援モデル事業とは・・・厚生労働省が平成25年度より全国

平成26年度国民健康保険  
特別会計歳入歳出決算認定について

Q 昨年、保険税負担の軽減を目的に一般会計から繰り入れている約2億円を半分にしたと、夫婦と子供2人世帯の保険税を7万3千円増税した。ところが決算では繰入額がないに等しい。説明と違うのではないか。

A 見込み違いでそうなった。一方で、医療費が予想以上の伸びとなっていることを理解してほしい。27年度も医療給付費は著しく伸びており、今後の推移を注視したい。



岩見 博 議員

業者提出の新図書館、新中央公民館の提案書を公表せよ

なるべく早い時期に市の広報等で知らせたい

新図書館は市民の関心が高い公共事業にもかかわらず、業者の著作権を理由に、議員も知り得た情報を市民に教えるなどと言われる。業者が提案している図書館、中央公民館はどのようなものか市民に公表されないのはおかしい。

コンビニで賑わいを創出できるのか

「にぎわい交流ゾーン」(新中央公民館)の民間商業施設について、事業者はコンビニエンスストアを提案しているが、コンビニ事業は競争が激しく、安定した事業とは思えない。この提案で莫大な税金の投入に見合う賑わいを創出できるのか。

子どもの貧困対策数値目標持った計画策定を

先進国の中でも高い比率となっている子どもの貧困とその連鎖が深刻な社会問題となっている。ひとり親家庭が多い本市においても放置できない問題との認識はあるか。また、市として数値目標を持って支援計画を策定すべきではないか。

「子ども・子育て支援事業計画」の現状の具体的な推進の方策を問う。また放課後児童クラブの利用者の増加に伴い施設の整備を今後とも計画的に行っていくか。

本市計画の点検評価の見直しを行い柔軟で総合的な取り組みを利用者の視点に立った事業計画として市民の皆様、関係機関、団体の方々とともに計画を推進していきたいと考えている。

本市として認定子ども園をどう推進していくかについて問う。

保育ニーズの高い本市においてその必要性は特になく思っている。法人園に対しては今後もそれぞれの意向を尊重し協議していく。

本市54町内会における自治会活動について、現状、行政からの、町内会にかかる負担が大きすぎるのではないかと。本市が目指す市民協働のまちづくりという視点から、見解を問う。

町内会はまさに市民協働を進めていく中で、核となる存在である。また、まちづくりの主役は市民である。これからも市民の皆様と共に考えながら推進していきたい。そのように思っており、市民の皆様のご協力をお願いを申し上げる。



現在の市立図書館

企画振興部長 公開は、入札参加者の権利が著しく阻害されると認められる内容を除き、提案の概要を取

地場産品の直売所を設けるなどの付加価値を加える工夫がされている。また、駐車場でフリーマーケットなどを開催するなど賑わいが生まれていきたい。

本市はひとり親家庭が多いことから重要な課題ととらえおり、援助を必要とする家庭への支援の充実を図っていきたい。

市内に2園ある幼稚園では259人が利用しており、保育園では法人11園、公立4園で2,041人の方が利用している。新制度が実施され今年度から各家庭にとって必要な情報を提供する保育コンシェルジュを庁舎内に配置し、きめ細やかな利

本市での、2歳児までの子どもを保育園に通わせている母親が、新たに子どもを出産して育児休業を取得した場合の、本市の対応について見解を問う。

2歳児まで子どもを保育園に通わせている母親が新たに子どもを出産して育児休業を取



西本 政之 議員

自転車用ヘルメットの購入費用を助成せよ

ヘルメットの補助金は考えていない

本市は自転車事故防止対策事業として「りんりんマナーアップキャンペーン」(小学校自転車教室)「中学校自転車教室」を行っているが、もっと幅広い対策者に正しい乗り方、ヘルメット装着などの習慣づけ等の啓蒙活動を行うべきと考ええる。

とお年寄りの安心・安全の為に、ヘルメット購入の助成をせよ。

末松廃寺周辺の整備と展示施設の設置ができないか。

末松廃寺周辺の整備は、展示施設の設置に併せて、整備を行っていきたい。

末松廃寺の発掘調査成果と仏像調査を問う。

発掘調査は、十一月頃までを予定し、その後、現地で発掘調査の結果についての説明を行う。仏像調査については、三次元測量で調査したい。

ふるさと納税について

市内17保育園では幼児交通安全教室を行っている。昨年より高齢者運転研修会も実施している。今後も継続して幅広い年齢層の市民を対象に、ヘルメット着用の普及啓蒙も図っていききたい。

児童、生徒にヘルメットを着用させるのは保護者の義務と思っている。ヘルメットの補助金については考えていない。

石川中央都市圏の連携の一つとして、金沢市や白山市と本市の境界を越えた避難所の設定はできないか。

石川中央都市圏の連携の一つとして、金沢市や白山市と本市の境界を越えた避難所の設定はできないか。

ふるさと納税の趣旨は、都市と地方の税収格差を是正する目的で、ふるさとを応援したいという寄与を越えて避難所を設定する事は考えていない。

県内11市で災害時の相互応援協定を締結している。一時滞在は可能と考える。自治体の境界を越えて避難所を設定する事は考えていない。

新支援制度における「子ども・子育て支援事業計画」の現状の具体的な推進の方策は

柔軟で総合的な取り組みを利用者の視点に立った事業計画として市民の皆様、関係機関、団体の方々と推進していきたい

「子ども・子育て支援事業計画」の現状の具体的な推進の方策を問う。

本市計画の点検評価の見直しを行い柔軟で総合的な取り組みを利用者の視点に立った事業計画として市民の皆様、関係機関、団体の方々とともに計画を推進していきたいと考えている。

本市として認定子ども園をどう推進していくかについて問う。

保育ニーズの高い本市においてその必要性は特になく思っている。法人園に対しては今後もそれぞれの意向を尊重し協議していく。

本市54町内会における自治会活動について、現状、行政からの、町内会にかかる負担が大きすぎるのではないかと。本市が目指す市民協働のまちづくりという視点から、見解を問う。

町内会はまさに市民協働を進めていく中で、核となる存在である。また、まちづくりの主役は市民である。これからも市民の皆様と共に考えながら推進していきたい。そのように思っており、市民の皆様のご協力をお願いを申し上げる。



安原 透 議員

本市計画の点検評価の見直しを行い柔軟で総合的な取り組みを利用者の視点に立った事業計画として市民の皆様、関係機関、団体の方々とともに計画を推進していきたいと考えている。

本市として認定子ども園をどう推進していくかについて問う。

保育ニーズの高い本市においてその必要性は特になく思っている。法人園に対しては今後もそれぞれの意向を尊重し協議していく。

本市54町内会における自治会活動について、現状、行政からの、町内会にかかる負担が大きすぎるのではないかと。本市が目指す市民協働のまちづくりという視点から、見解を問う。

町内会はまさに市民協働を進めていく中で、核となる存在である。また、まちづくりの主役は市民である。これからも市民の皆様と共に考えながら推進していきたい。そのように思っており、市民の皆様のご協力をお願いを申し上げる。



金村 哲夫 議員

末松廃寺の再整備の計画と展示施設の新築を問う

展示施設の設置に併せて必要な整備を行う

末松廃寺周辺の整備と展示施設の設置ができないか。

末松廃寺周辺の整備は、展示施設の設置に併せて、整備を行っていきたい。

末松廃寺の発掘調査成果と仏像調査を問う。

発掘調査は、十一月頃までを予定し、その後、現地で発掘調査の結果についての説明を行う。仏像調査については、三次元測量で調査したい。

公営墓地設置における基本構想について

公営墓地整備の基

本構想と基本計画を示せ。

公営墓地整備の基

本構想と基本計画を示せ。

土地区画整理事業における進捗状況は

中林地区、西部中央地区の組合設立認可遅れの経緯と今後の計画を示せ。

中林地区、西部中央地区の組合設立認可遅れの経緯と今後の計画を示せ。

中林地区、西部中央地区の組合設立認可遅れの経緯と今後の計画を示せ。

中林地区、西部中央地区の組合設立認可遅れの経緯と今後の計画を示せ。

変更案件の道路が

変更案件の道路が

変更案件の道路が

変更案件の道路が

変更案件の道路が

変更案件の道路が

変更案件の道路が



発掘調査中の末松廃寺



宮前一夫 議員

Q 市街地の用水は、豪雨時等増水への対応は大丈夫か

A 計画問題はないが、都度再検討を行っていききたい

【質問】本市の市街化が進んでいる中、すでに施工された、押野地区東部の区画整理事業エリアの、降雨設計の再検討は、行っているのか伺う。

【市長】近年の降雨状況は、まさに議員お話のとおり、「ゲリラ豪雨」と呼ばれるように、異常降雨が頻繁に発生している。また、本市においても、市街化区域において、保水能力の低下がみられ、治水対策を講じていくべきと考えている。

【産業建設部長】本市の取り組みとしては、雨水の流出抑制対策により、治水対策を推進している。また、雨水排出基準の強化を図りながら、河川への負担軽減を検討していきたいと考えている。

【質問】この夏休み中のラジオ体操の実施期間について伺う。

【市長】本市においては、夏休み期間中、すべての子ども会において、ラジオ体操を実施している。

【教育文化部長】本年度は夏休み中、平均十七日間程度の実施日数である。指導に関しては、六月に全国ラジオ体操連盟の指導員による「ラジオ体操講習会」を、カメラリアで実施し、高学年児童や育成委員が、ラジオ体操の基礎を学んでいる。



馬場弘勝 議員

Q 緑の歩行系ネットワークの回遊性向上と交流拡大に向けた仕掛けのアイデアは

A 「緑道マップ」の作成などにより緑の魅力のPRに取り組んでいきたい

【質問】「野々市市緑の基本計画」が策定見直しされた。緑の歩行系ネットワークの整備は、拠点と拠点、地域と地域を結ぶ最も重要な施策の一つである。回遊性向上と交流拡大に向けた仕掛けのアイデアは。

【市長】四季折々の美しい写真をホームページや広報に掲載する。また、「緑道マップ」の作成などにより、緑の魅力のPRに取り組んでいきたい。

【質問】条例で定めた市民一人当たりの緑の面積に対し、緑の基本計画で10年後の面積目標は小さくなると単純試算される。今後の姿勢と取り組み方針は。

【市長】公園整備をはじめ、公共施設での緑地の確保、民有地における前庭緑化、生垣の推進、巨樹や社



木呂川沿いの緑道



辻信行 議員

Q 既存公園に設置されているトイレはバリアフリー化すべきではないか

A 管理方法など地元の意見を踏まえて改修・廃止など検討したい

【質問】今後耕地面積が更に減少されていきます。果はどの様なものでしょうか。またこの事業で現在も継続して市政に反映している現状を問う。

【市長】3回の実施で、応募が16団体、実施した事業が今年度も含めて14件です。市内115カ所の既存の公園で、トイレが設置されている公園は災害時において貴重な存在になります。バリアフリー化に改修すべきを問う。

【質問】都市公園や緑地は憩いや安らぎの他、災害発生時の避難場所としての機能を有します。その公園の機能性を十分発揮させるにはトイレは必須だと思いませんか。市内115カ所の既存の公園で、トイレが設置されている公園は災害時において貴重な存在になります。バリアフリー化に改修すべきを問う。

【市長】小規模な街区公園のトイレはすべてにおいて老朽化が進んでおります。今後は利用者数、利用形態、老朽化の状況、周辺環境の変化などを考慮しながら、管理の方法など地元の皆様のご意見を踏まえたうえで、改修・廃止など検討をしていきたい。

【質問】25年度から始めた提案型協働事業で、行政提案と市民提案において、ご指摘の、既存の用排水路についても、その機能を検証し、必要な整備があれば、検討していききたいと考えている。

【市長】消費者の食に対する健康意識が高まっています。本市におきましても、機能性の表示ができる農作物の生産を促していく必要が立ち上がっております。この事業の効果は即効性のあるものには比較的小さいが、中長期的に考えるべきかと思っております。団体の活動は小さくても継続して多くの人たちがまちづくりにかかわっていくことが大切であると考えております。



五十川員申 議員

Q 野々市市として、これからの情報政策に対する姿勢を問う

A 情報政策立案に必要な場合は、庁内での組織体制の見直しも考慮し柔軟に対応してまいりたい

【質問】オープンデータ化の要望が出た場合の、データ公開までのプロセスを教えてください。

【企画振興部長】オープンデータの取り組みに関しては、データの提供などに関する相談については、データを保管している各担当課で承ねていただき、担当課で承認していただき、オープンデータの形式の変更、これについては担当課でできない場合は、情報を担当しておる企画課がその処理にあたるということになると思っております。

【質問】野々市中央公園が現在の2倍の規模に拡張される。健康防災拠点としての健康遊具が好評と聞いている。今後の都市公園整備やリニューアル整備の際に、利用価値が高まるように対応していきたい。

【市長】ストレッチや筋力を鍛えることを主な利用目的とした健康遊具が好評と聞いている。今後の都市公園整備やリニューアル整備の際に、利用価値が高まるように対応していきたい。

【質問】野々市中央公園が現在の2倍の規模に拡張される。健康防災拠点としての健康遊具が好評と聞いている。今後の都市公園整備やリニューアル整備の際に、利用価値が高まるように対応していきたい。

【市長】ワークキンググループ先は広告媒体に限らず多くのページに存在するので、広告掲載取扱要綱の見直しを含め検討していきたい。※質問前に、本市ホームページからリンクするウェブサイトに脆弱性が見つかり今回質問を行いました。本会議終了後、問題になったリンク先の修正は行われることになりました。



大東和美 議員

### Q 家庭教育支援条例制定をめざせ

**A** 家庭教育支援はすでに行っている、条例制定は考えていない

**質問** 家庭教育支援条例の制定をし、親子が笑うまちづくりを目指してはどうか。

**教育長** 平成16年度より家庭教育推進協議会を設置し、福祉部局との情報交換や事業連携を推し進め、0歳から中学生までの子どもを持つ保護者を対象にした家庭教育支援事業を行っている。ボランティア・社会教育団体との連携も強めている。切れ目なく家庭教育の事業展開を図っている。

今後、地方創生の取り組みの中で、市街地のにぎわいを支援するため、空き店舗を活用して開業や新規出店の際、リフォーム、備品購入費用等の一部助成を検討をしている。

**質問** 市民教育など具体的に取組みを伺う。

**総務部長** 成人式の会場や市内の大学と連携した啓発、市内小学校における模擬投票などに取り組んできた。平成27年1月から初めて中学校で模擬投票を実施。今後は高等学校でも模擬投票を検討、国は「選挙に関する副教材」を作成し、年内に配布予定している。

**質問** 市民教育など具体的に取組みを伺う。

環境性と自然採光の活用を施す。

### 若者の夢を応援

**質問** 新しい起業にチャレンジするときには自治体として後押しをしてはどうか。

**市長** すでに市独自のベンチャー支援を行っている。

**市長** 年代や利用の仕方によって、館内での居場所も異なる。比較的にぎやかな児童図書場所と静かに読書を楽しむことができる場所を離れた配置にしては、照度の確保については環境性と自然採光の活用を施す。

### その他の質問

### 気になる図書館

**質問** 音響や光への配慮について伺う。

### 18歳選挙権の実施に向けた取組みについて

地方創生で若者の居場所づくり

・ケアセンターの推進

## 総務産業常任委員会（行政視察）

総務産業常任委員会では、10月5日(月)から7日(水)にかけて、視察を行いました。

### 埼玉県戸田市「シティセールス」活動の取組み

▼特徴のないまちからの大転換 政策研究所の設置

「シティセールス」とは、まちの魅力を市内外にアピールし、人や企業に関心を持ってもらうことで誘致や定着を図り、将来にわたるまちの活力を得ることにつながる活動をいいます。

戸田市は、人口流動の転入出が多い・自治体知名度が低いなどのウィークポイントがある、本市と類似点が多い街でした。その課題解決のために、外部ブレーンに頼るのではなく、市長直轄組織の自治体シンクタンクである「戸田市政策研究所」を設置されたそうです。市全体の政策形成力の上

向による市民満足度の高い市政運営の継続と将来にわたる持続的な発展を目指し、刻々と変化する社会状況に合致した政策の調査研究を目的で、市長に直接政策提言を行うための調査等を分析的・



客観的に行っているそうです。また市長のブレーンとしての役割機能が、しっかりと組織内に位置づけられているため、先進性が高く、担当職員の非常に快活で力強いモチベーションが印象的でした。

▼市全職員の自覚と、自ら力を発揮すること

シティセールス戦略の策定過程で一番重要な事は、外部のコンサルタントなどに業務委託することなく、市職員の持てる力を発揮して自前策定することが大前提。

戸田市の認知度と都市イメージの向上を目標に、課題に対してのターゲットを絞り込み、全庁で共有し全ての職員がその実現を目指すことよって、市のブランドがしっかりと形成されます。自身の強み・優位性を、将来の市民予定者にしっかりと伝えることにつながり、市民や民間企業が、自然とPRされるという好循環

## 教育福祉常任委員会（行政視察）

### 住民のための施設運営の仕組みづくりを

10月19日から21日にかけて、滋賀県竜王町「竜王町総合公園」、米原市「市民交流プラザ(ルッチプラザ)」など4か所を視察、その中から2施設で学んだことを紹介します。

▼町外からのお金を呼び込める施設で、町民に手厚いサービスを還元

竜王町は、住民減少が進む人口3万人弱の町。この施設には、全天候型のドラゴンハットという屋根付きの運動場があります。贅沢過ぎるとの町の職員の声もありましたが、町民に還元できる仕組みがありました。施設は、指定管理者制度を利用し運営されていますが、大きな施設を武器に町外、県外からの利用促進に力を入れており、町外の利用者が50%を超えている施設もありました。利用料も町民には受益者負担分、町外の利用者は倍の利用料をとっていました。施設運営に関わる費用の半分は町の予算ですが、逆に言うと町民は払っている税金の倍のサービスを受けていることとなります。これは指定管理者だからこその出



来た形の一つです。

▼市民が主体的に関わることで、市民が望む施設を上手に運営する秘訣 米原市の市民交流プラザ(ルッチプラザ)では、建設前から市民と運営や施設内容について協議を重ねてきたそうです。建設後、施設運営に市民サポーターとして多くの市民が参画していました。例えば、施設内の庭木の整備では市民からの声で庭を設けたことで、庭の剪定・水やりを市民植栽サポーターが行っていたり、施設内で行われるイベント入場窓口のスタッフも市民イベントサポーターが携わったりしていました。また継続的な仕掛けとして、サポーターとして働く施設内通貨(ルッチマネー)が支払われ、市民は、この施設内通貨を施設内にある飲食店や、施設内で行われるイベントチケット購入、施設利用料などに使うことができます。また、施設内飲食店も施設利用料を施設内通貨で市へ払うことができ、市民から市へと、継続的にお金が回る仕組みができていました。

### 12月定例会の日程が決まりました

### 議会組織変更のお知らせ

※正副議長は会派に属さない

- ▼会期
    - 12月1日(火)～12月18日(金) 18日間
  - ▼開会 1日(火) 午前10時
  - ▼一般質問
    - 8日(火)、9日(水) 午前9時30分
  - ※質問者の人数により日数の変更もあります
  - ▼予算決算常任委員会
    - 11日(金)、16日(水)
  - ▼総務産業常任委員会
    - 14日(月) 午前10時
  - ▼教育福祉常任委員会
    - 15日(火) 午前10時
  - ▼閉会 18日(金) 午後2時
- 
- ▼会派変更 ※正副議長は会派に属さない
  - ◇フォーラムエヌ 代表 尾西 雅代
  - ◇馬場 弘勝・北村 大助・五十川員申
  - ◇市政委員会 代表 土田 友雄
  - ◇杉林 敏・宮前 一夫・安原 透
  - ◇互 鈴 代表 辻 信行
  - ◇中村 義彦・西本 政之
  - ◇日本共産党 代表 岩見 博
  - ◇公 明 代表 大東 和美
  - ▼議会運営委員会
    - 委員長 土田 友雄
    - 副委員長 尾西 雅代
    - 委員 北村 大助・中村 義彦
    - 杉林 敏(新任)・辻 信行
    - ▼議会だより編集委員会
      - 委員長 辻 信行
      - 副委員長 宮前 一夫
      - 委員 五十川員申・北村 大助(新任)
      - 安原 透(新任)・大東 和美
      - 岩見 博

### アンケートと改善結果

- 一般質問通告書一覧の番号のつけ方が統一されていなくて見にくい。
- ▼昨年12月定例会より統一しました。
- 席次図を傍聴者に配付してほしい。
- ▼昨年12月定例会より傍聴者に対し、お配りしました。
- 部・課長の名前を席次図にのせてほしい。
- ▼6月の定例会より、部課長の名前を記載しました。
- 発言者の音量に合わせ、議場のスピーカーのボリュームを調節してほしい。
- ▼9月定例会より、調整を行いました。



# もっと良くなる きっとできる

清水 勇さん(堀内2丁目)

今年4月の野々市市議会議員選挙の投票率は45.6%でした。県内でも1.2番目に低い数字で、市民としてとても残念な思いでした。一方で川北町は88.01%という高い投票率でありました。一体、この差はどこから生じているのでしょうか。私は市民が市政、行政に高い関心を示し、自ら参加しようという気持ち、

また行政のサービスやその恩恵に対する感謝の気持ちが、この投票行動に表れているのではと思います。

さて、我が野々市市は今、大きなプロジェクトをいくつも実現しよう

としています。市立図書館・中央公園の拡張・2地域の市街化区域への編入などです。これらのサービスや事業が実現した時、私たちにどれだけの満足がもたらされ、それらが市政・行政への信認に繋がり、その結果、投票行動に結びついていったらいいなと思います。

そのために議会は本当に市民の望むものを具体化しオープンに、スピーディーに、施策の検証も含めて、行政側に切り込んでいってほしいと思います。

今回は若い新人議員が5人も誕生したので、会派を超えて新しいアイデアをどんどん出し合って、野々市市の未来に持続可能なビジョンを描いてほしいです。期待しています。



## 市民と政治を 近づける 情報発信を

新家 哲平さん(扇が丘)

今年の市議選では、投票率は45.6%でした。町内会別や年代別の投票率は公開されていないようですが、私の当て推量では、移住者の多い町内会や若い年代の投票率は30%台もあったのではないかと思います。市民の政治参加は市民・政治双方の工夫が必要ですが、今回は野々市市議の皆さんに3つのお願いをさせていただきます。

1つ目は、市議一人ひとりの情報発信です。ウェブの活用や後援会通

信の発行、報告会の開催など、各人の得意なやり方で(選挙の時だけではなく!)継続的に行ってほしいです。

2つ目は、議会だよりの充実です。現在の議会だよりは会議の報告が主ですが、親しみのもてる紙面のために、各市議持回りのコーナーを設けてはいかがでしょうか。

3つ目は、会議映像・会議録の速やかな公開です。9月議会では、映像は会議の2日後に公開(これは早いと思います)、会議録は10月



20日現在まだ公開されていません。会議翌日の新聞記事で市政に興味を持った人が情報を得られる仕組みが大事だと思います。

平成28年参院選から18歳選挙権が適用されます。政治への関心が高まるこの機会を、野々市市議会でもぜひ活かしていただきたいと思っております。

### 編集後記

○辻 信行

議会だより7号から組織の変更に伴い、杉林敏氏が退任され新たに北村大助氏と安原透氏が編集委員となりました。9月議会報告は新委員を加え総勢7名で作成致しました。より多くの市民が、議会と議会活動に関心と興味を持って戴ける様な「議会だより」づくりには、毎回委員各位の意見と議論を重ねて手作り作成していますが、皆様の感想をお寄せ頂ければ幸いです。

表紙写真のテーマである「時空の街」をモチーフとしたものを撮る事は、大変難しく毎回苦労をしておりました。今回写真クラブの中島治人氏に依頼し、快くお引き受け戴き感謝申し上げます。

表紙の写真は随時募集を行っていきますので、ご協力をお願い致します。

お問い合わせ先、応募先は、左記記載の市議会もしくは、メールでお願い致します。

### 表紙説明

市指定文化財 旧魚住家住宅  
江戸時代末期の旧北国街道筋を代表する町家風農家風建物です。



発行：野々市市議会  
〒921-8510 石川県野々市市三納一丁目一番地  
編集：議会だより編集委員会

野々市市議会URL: <http://www.city.nonouchi.lg.jp/gikai/gikaishop.html>  
Eメール: [gikai@city.nonouchi.lg.jp](mailto:gikai@city.nonouchi.lg.jp)

